

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 福島県立視覚支援学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ V （複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	小学部（1名） 中学部（7名） 高等部（9名） 聴覚福島校小学部（4名） 教職員（14名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 体育 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	様々なブラインドスポーツを体験し、一人一人に応じたスポーツを楽しむ心の育成を図り、主体的にスポーツに取り組むことができる。
5 取組内容	<p>1 講話 2 実技指導（ボルダリング）及び質問コーナー 3 事後学習及びアンケート調査</p>    

6 主な成果	<p>ブラインドスポーツでの初のボルダリング体験を実施し、笑顔の中興味関心を湧かせて取り組むことができた。実施後の本校独自のアンケート調査では、「参加して楽しかった」80%、「またやってみたい」73%となり大変好評であった。また、「授業でやってみたい」「後輩に教えてあげたい」などの感想も出され、本事業をとおしてテーマであるスポーツを楽しむ心の育成が図られた。</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>競技種目の選択肢が多くはないブラインドスポーツにおいて、初のボルダリングを実施することで、種目選択の幅をもたせる機会とすることができた。また、壁にガイドテープ（青いテープに紐）を設置することで、視覚障がい者にもコース設定をわかりやすくするとともに、事前に自分の進める手数を決めることで、目標が明確になり一人一人に応じた楽しみ方を理解することができた。</p>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • ボルダリング設置会場が少ない。 • 予算内での講師依頼や日程調整が困難である。 • 必要な物品の購入ができない。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • 新型コロナウイルス感染状況等をみながら、感染対策を図り継続や発展することができるように検討する。